

News Release

株式会社 **タケダ**

京焼・清水焼の伝統の技と 新素材が生み出すプレミアムなビアマグ 9月12日発売



SO-U (そう) ロゴ

株式会社タケダ(本社:京都市、代表取締役 竹田裕美子)は、
2024年9月12日に展開している伝統工芸ブランド「竹田千藏商店」の
「SO-U(そう)」シリーズから、待望のビアマグを販売開始します。

竹田千藏商店ブランドの「SO-U」シリーズから新しいビアマグ

「SO-U」シリーズは、京焼・清水焼の伝統技術と信楽の新しい土「信楽透土」との融合によって生み出されました。製作には京焼・清水焼の窯元である森里陶楽が当たっています。信楽透土の特性を活かすことにより、ビールのきめ細やかな泡立ちを実現。泡立ちが美しく引き立ちます。独特の手触りと重厚感を兼ね備えたビアマグが完成しました。



信楽透土の特性を活かすデザイン ランプシェードとしても

このビアマグの特徴の一つは、信楽透土を使用し透過性を持たせていることです。ビアマグとして使っていないときにはランプシェードとして使えます。信楽透土は従来の磁器に比べて約3倍の光透過率を持ち、厚みのある陶器でも光を通します。この技術は特許権を有し(特許番号:5352035)、登録商標「信楽透器」として保護されています。

伝統技術の継承を目指して

「SO-U」シリーズは、伝統の技術を次世代に継承することを目指しています。京焼・清水焼窯元の卓越した技術と信楽の新しい土が融合したこのビアマグは、大量生産ではなく自然(土)の温かみを感じる手仕事によって一つ一つ丁寧に作られており、表情がそれぞれ異なります。これはものを大切にする精神や文化を現わしています。気に入ったものを長く使い続けて欲しいとの願いから、金継ぎ等でのお直しにも対応いたします。

現代の食卓に伝統を 大切な方への贈り物にも

このビアマグは、京焼・清水焼の技術を現代の食卓で使用できる形に提案し、日常に伝統の手仕事を取り入れる新しい方法を提供します。京都の美意識と「用の美」を重んじるデザインは、ビールを楽しむ時間をより上質なものにし、大切な人への贈り物や自分へのご褒美にも最適です。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社タケダ 広報担当

〒605-0989 京都府京都市東山区本町新五丁目147番地 電話 075-541-8121

Web サイト: <https://takedasenzo.com>

価格 6,000円/(税別)~

「SO-U」シリーズについて

「SO-U」、京都の伝統工芸である神仏具の金属部分の
鍔金具の技術を用いて作るフラワーオブジェと京焼・清水焼の窯元、
森里陶楽が制作した透過性のある陶器のランプシェードが組み合わされ
た商品を展開しています。今回新たにシリーズとしてビアマグが
加わりました。

【参考資料】

URL <https://takedasenzo.com>



URL



Instagram



竹田千藏商店について

1893年(明治23年)創業のものづくり企業への材料の間屋である株式会社タケダが、2022年に創業当時の屋号「竹田千藏商店」をブランド名及び実店舗のギャラリー名として復刻しました。神仏具の金属部分である鍔金具の技術で制作するアクセサリ「HOMARE」やエコラップを作るキット「竹田千藏商店のみつろうラップキット」を企画販売しています。2023年には、オリジナルの京扇子も販売開始しました。顧客である伝統工芸の職人とデザイナーを結び付け現代のライフスタイルに合う工芸品の企画販売をすることで伝統工芸の技術を次世代に繋ぐことを目指しています。竹田千藏商店ブランドの商品を手にする人の心が豊かになることを願って日々努力しています。

創業明治二六年



竹田千藏商店

TAKEDA SENZO STORE



株式会社タケダ（運営会社）

住所	〒605-0989 京都市東山区本町新五丁目 147 番地
代表者	代表取締役 竹田裕美子
事業内容	工業薬品、塗料、接着剤、樹脂、衛生管理用品、伝統産業資材等の卸
従業員数	4名
創業	1893年(明治26年)
H P	https://www.takeda1893.co.jp
沿革	1893年 明治26年 竹田千藏が染料、顔料、絵の具等の販売を個人商店として開業。 1953年 昭和28年 株式会社竹田商店に改組。 1960年 昭和35年 消防法改正により、本社は屋を耐火構造に新築。 1980年 昭和56年 商号変更 株式会社タケダとなる。 2009年 平成21年 竹田裕美子 社長就任 2022年 令和4年 竹田千藏商店をブランド名、ギャラリー名として復刻

当社の企業理念は「幸せの化学反応を起こしましょう」です。

当社のさまざまな活動を通して、良い反応を起こることを願っています。